

# ベネッセSTEAMフェスタ2022

## プレインタビュー 第3回

全国の中高生が探究や研究の内容を発表し、意見を交換して、多様な人と学び合う「ベネッセSTEAMフェスタ」。3月19日(土)26日(土)の開催に先駆けて、エントリーしたチームを紹介します。

### 宮城県仙台第三高校

チーム名 しろごはん 発表タイトル「しかくトイレ」

## 誰もが利用OK！オールジェンダートイレを自分たちでデザイン

### Q. 探究テーマを選んだ理由は？

メンバー まず、ジェンダー問題に関心のある生徒が集まり、「なぜ、性別によって制服が違うのか」「どうして、男性は青、女性は赤という色分けが多いのか」など、各自が抱く課題意識や疑問を出し合いました。その中の1つが、「性的マイノリティの人たちは、公共トイレに使いにくさを感じているのではないか」という疑問です。インターネットで調べると、海外では性別にかかわらず利用できる「オールジェンダートイレ」が普及していることを知りました。でも、日本では多くの人が知りません。そこで、自分たちで画期的なオールジェンダートイレをデザインすることとしました。

### Q. 探究の内容や発表の見所を教えてください！

メンバー 初めに、校内でアンケートを行い、オールジェンダートイレに対する意識調査を行いました。パソコンで結果をまとめると、「安全性に問題がありそう」「ほかの利用者が気になる」などのマイナス意見が少なくありませんでした。それらの解決を目指すアイデアをメンバーで出し合い、オールジェンダートイレをデザインした経験のある日本の建築士にインターネットを通じて連絡し、アドバイスもいただきました。

そうしてデザインしたのが、「しかくトイレ」です。名前は、「視覚（見た目）」と「四角（個室の形）」の2つの意味をかけ合わせました。犯罪抑止のため、空間の中心にオムツ替えスペースを設けて人の目が届きやすいようにしたほか、他の利用者が気にならないよう、トイレの個室を隣り合わせにしないようにしました。このデザインへの意見を聞いたアンケートでは、対象を校外に広げて実施しました。性的マイノリティの方々も含めて、多くの人から「利用したい」という声をいただきました。

### Q. フェスタへの期待を一言！

メンバー 私たちの発表を通じて、同年代の人たちにジェンダー問題に関する心を持つもらえるとうれしいです。ジェンダー問題全般についてどのように考えているのか、「しかくトイレ」に対する意見もぜひ聞きたいです。

#### チームメンバー



メンバーは、今回参加できなかったメンバーも含め、全4人の高校2年生です。メンバー全員に共通する好きな食べ物をチーム名にしました！

#### 発表スライド

##### ●しかくトイレの特徴

###### 〈空間全体〉

①トイレ空間の入口を2つ作る

開放的で入りやすく

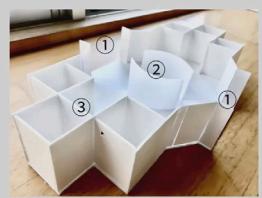
②中心にオムツ替えスペースを設置

家族構成、性別問わず使用可

中心にあることで犯罪防止

③トイレを隣り合わせにしない

音や匂い漏れの改善



私たちがデザインしたオールジェンダートイレです。アンケート調査で今のトイレの課題を明らかにし、その解決を目指しました。入り口を2つにして開放的な空間にしつつ、安全性を高め、他の利用者の目が気にならないようにしているのが特徴です。



大きな問題から問い合わせを見つけて解決策を考え、活動を学校の外にも広げていく、その行動力がすごいと思いました！

指導担当 鈴木信之先生

当事者の意見も取り入れて  
デザインを考えようとしているのが  
素晴らしいですね



ベネッセ事務局 芦野恒輔

今回で13回目となる「ベネッセ STEAM フェスタ」には、全国の中学校・高校から110チーム約280人がエントリー。多種多様な分野から発表されます！ 詳しい開催概要は、下のURL、または右のQRコードからアクセスしてご覧ください。  
<https://steamfesta.benesse.co.jp/>

